



市政だより

GERO
CITY
INFORMATION

2005 4 April
第14号
Vol:14

けろ



子どもたちが大きく成長 ダンスミュージカルを公演

子どもたちによるダンスミュージカル「ダンス・イン・ザ・ハート」の公演が3月13日、下呂観光会館で行われました。

市内の小中学生64人が参加し、夢を持って生きることや友情の大切さを、劇に歌や迫力あるダンスを加えて表現しました。約5カ月にわたる練習の成果を舞台の上で存分に発揮した子どもたちに会場から大きな拍手が送られました。



ありがとう未来へつなげ森のめぐみ

第57回全国植樹祭

2006 GIFU

CONTENTS

平成17年度予算の概要..... 2 ~ 5
全国植樹祭に向けて..... 6 ~ 9
ほっとピックス..... 10 ~ 11

図書だより・こちら110番...12
暮らしの情報あれこれ.....13 ~ 17
こんにちは市長です.....18

人の動き.....19
わたしたちのまちづくり.....20

新コーナー



平成17年度予算

区分	予算額		
一般会計	205億円		
特別会計	国民健康保険事業 (事業勘定)	38億6,515万円	
	老人保健医療事業	45億4,104万円	
	介護保険 (介護サービス事業勘定)	8億393万円	
	介護保険 (保険事業勘定)	23億9,447万円	
	簡易水道事業	9億8,260万円	
	下水道事業	39億9,300万円	
	国民健康保険事業 (診療施設勘定)	3億6,361万円	
	CATV放送事業	6,837万円	
	CATV通信事業	3,234万円	
	下呂財産区	1,546万円	
	竹原財産区	67万円	
	上原財産区	114万円	
	中原財産区	425万円	
	金山町金山財産区	1,046万円	
	金山町下原財産区	745万円	
	金山町東財産区	23万円	
	小計	170億8,417万円	
	企業会計	水道事業	3億7,093万円
		下呂温泉合掌村事業	3億8,182万円
金山病院事業		15億2,922万円	
小計		22億8,197万円	
合計	398億6,614万円		

数字は端数処理をしています。

平成17年度の予算が決まりました。

新生下呂市の将来像である「ふるさと感じる森と清流、人とまちが響きあう健康と交流のまち下呂市」を目指して、「下呂市第一次総合計画」に基づき、着実にまちづくりを進めていきます。

平成17年度予算は、旧町村からの予算素案を基に編成した16年度とは異なり、実質的な下呂市の幕開け予算といえます。21世紀を見据えた10年間の新生下呂市の政策・計画を示す「下呂市第1次総合計画」のスタートの年であり、これに基づき予算を編成。財政の基本を「入るを量りて出づるを制す」の原点にたち、厳しい財政状況の中、合併支援策の活用や合併による経費削減効果を生かしつつ、重要かつ有効な事業に積極的に対応しました。

まちづくりの基本理念である「住民参画と協働によるまちづくり」で知恵と力を結集し、特に「観光立市・下呂」として観光客と市民が交流するまちづくりを積極的に進め、県と連携して南飛騨国際健康保養地づくりの実現を目指します。また少子・高齢化対策や環境対策、防災対策などにも対応し、一層の福祉の向上と地域活性化を図っていきます。

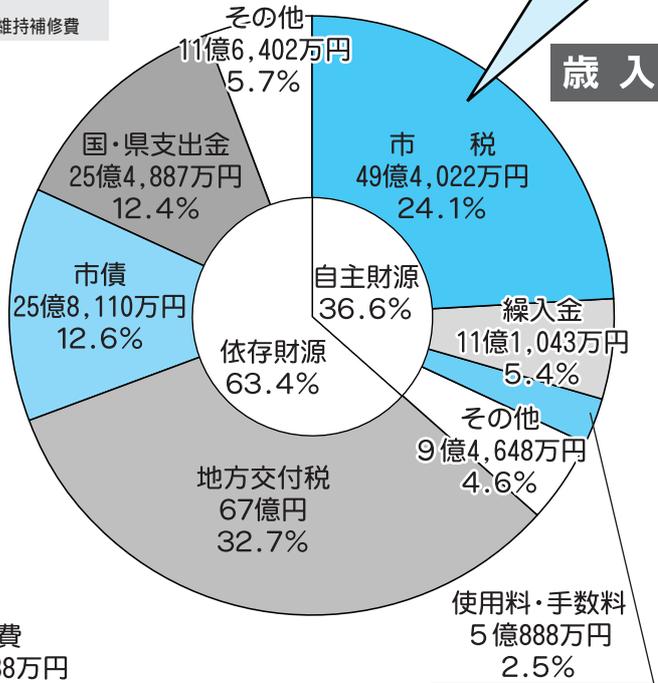
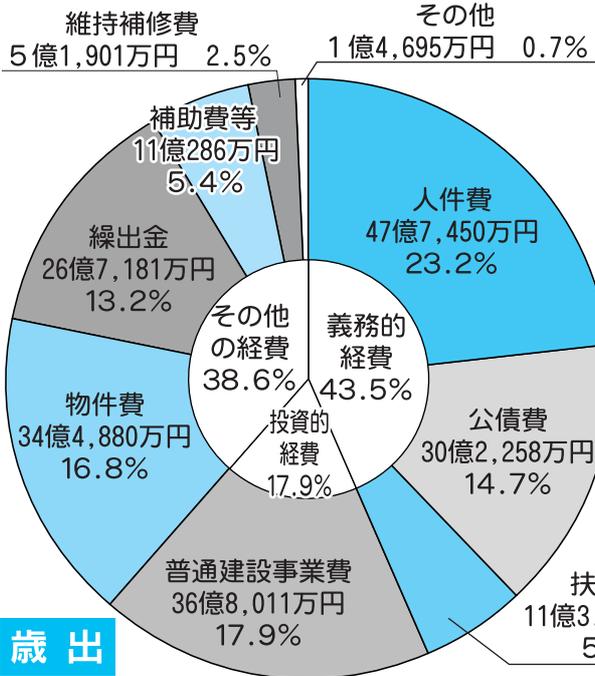
平成17年度の予算総額は、398億6614万円。そのうち「一般会計」は205億円。16年度当初予算に比べ実質2.7%増としました。「特別会計」は、170億8417万円、企業会計は、22億8197万円です。

【用語解説】

歳入	一年間のすべての収入のこと	歳出	一年間のすべての支出のこと
自主財源	自前で収入できるお金	義務的経費	支出が義務づけられた経費
依存財源	国や県から交付されたり、借り入れたお金	投資的経費	市道路や建物などの建設事業費や用地の購入費、災害復旧費など
地方交付税	小規模自治体でも、一定のサービスが確保できるように格差解消のために交付されるもの。	扶助費	生活保護費や障害者等への援助費など福祉のためのお金
国県支出金	国や県の決めたルールにあった仕事をする場合に、必要な費用の一部または全部が補助されるもの。	物件費	委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費、修繕費など
		補助費等	市各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼など
		維持補修費	施設や道路などの維持補修費

市税の種類	予算額	構成比
市民税	13億1,889万円	26.7%
固定資産税	31億5,413万円	63.9%
軽自動車税	7,097万円	1.4%
たばこ税	2億4,476万円	4.9%
入湯税	1億5,147万円	3.1%

数字は端数処理をしています。



歳入を性質別にみると自主財源が36・6%に対し、依存財源は63・4%となります。自主財源の根幹となる市税は、前年度当初比1・0%増の49億4千万円を見込んでいます。地方交付税は、合併による算定替えや合併支援措置などで67億円を見込んでいます。

17年度は、下呂市第1次総合計画に基づく各種事務事業が本格的にスタートする年となります。事業の実施にあたっては、国や県の補助事業や合併支援の補助金・交付金、交付税措置のある合併特例債などを計画的に活用し、財源の確保をしていきます。そのため国庫支出金では、前年度当初比20・9%増となっています。繰入金では、各種目的の基金や財政調整基金を取り崩し財源を確保、積極的に事業を進めます。

市の「借金」にあたる市債は4・6%増の25億8110万円で、うち建設事業債は164・7%増の17億5510万円で、歳出では、人件費や公債費などの義務的経費が全体の43・5%を占めており、うち人件費が23・2%

特別会計への繰出金は、9会計で26億7180万円で、高齢化社会の到来による医療費、介護サービス費の増加や下水道整備事業などで年々その額が増加しています。

大型建設事業の主なものは、合併に伴う防災行政無線の本格統合を本年度から2カ年で行い、あわせて老朽化した設備の更新を図る「防災行政無線機器等整備事業」や、下呂温泉街の道路や河川公園の整備、全国規模の大会が誘致できる地域交流センターなどを平成20年度までに整備する「まちづくり交付金事業」、スポーツイベントの開催機能をもった多目的アリーナを整備する「南飛騨総合健康アリーナ整備事業」、平成18年度までに整備する高地トレーニング施設整備事業、萩原南保育園整備事業などです。

市債の返済に当たる公債費が、14・7%を占めています。各種事業に本格的に取り組むのに伴い、普通建設事業費は前年度比49%増の36億8011万円を計上しました。

一般会計予算は、205億円 本格的に事業がスタート

協働がキーワード

人とまちが響きあう のまち・下呂市』をめざして

人が育ち・行動する“まち”をめざして

- ・萩原南保育園改築事業
- ・金山市民会館周辺公共施設整備事業
- ・教育指導員設置事業
(特別支援教育介護員、多人数学級補助員の学校派遣)
- ・小学校施設整備事業
(東第一小校舎屋根防水工事ほか)
- ・中学校施設整備事業(竹原中進入路新設工事ほか)
- ・小中学校教育振興費(小中学校の情報教育の充実)
- ・教育国際交流事業(生徒海外研修派遣ほか)
- ・山之口公民館整備事業(バリアフリー化ほか)
- ・大威徳寺跡発掘調査事業

活力ある“まち”をめざして

- ・地域情報化推進事業費(実施計画設計)
- ・小川2号線道路改良事業
- ・市道路改良事業(12路線で)
- ・地域交流センター整備(基本設計)
- ・南飛騨総合健康アリーナ整備事業
(調査設計・基本計画)
- ・しらさぎ緑地公園整備
- ・湯之島地内の市道800mのバリアフリー化
- ・道添団地整備 公営住宅整備の設計委託
- ・住宅マスタープラン策定
- ・飛騨牛雌牛保留対策事業
- ・県営中山間総合整備事業(萩原・小坂・馬瀬)
- ・県営ふるさと農道整備事業(森～小川～乗政)
- ・全国植樹祭関連事業
- ・大規模林道整備事業
- ・高地トレーニング施設整備
- ・コンベンション誘致強化事業
- ・観光振興費(桜サミット開催ほか)
- ・商工振興費(小口融資、商店街空き店舗活用支援)

信頼の自治の“まち”をめざして

- 行政改革の推進(事務の効率化、見直しなど)
- ・市民憲章の制定
 - ・ISMS(下呂市情報セキュリティ管理システムの認証取得)
 - ・職員研修の実施
 - ・土地評価システム整備事業
 - ・道路管理システム導入事業(道路台帳の統合整備)



市民の皆さんとの

『ふるさとを感じる森と清流、健康と交流』

平成17年度予算の主な事業（使い道）を下呂市第1次総合計画の目的ごとにまとめ、お知らせします。

安全・安心の“まち”をめざして

- ・魚付き保全林整備事業
- ・松くい虫被害木駆除促進事業
- ・ギフチョウ保護、ササユリ増殖事業
- ・一般廃棄物処理計画策定事業
- ・消防自動車等購入事業（萩原、小坂、馬瀬2台）
- ・消防詰所新築事業（金山第2分団第2部）
- ・防火水槽整備事業（上村、奥金山、数河、黒石）
- ・災害対策費（洪水ハザードマップ作成ほか）
- ・防災ヘリポート整備事業（萩原）
- ・防災行政無線機器等整備事業
- ・常備消防費
（119番通報システム整備、救命機器整備）
- ・公共施設耐震診断調査費
（昭和56年6月以前の建築物）

公平・公正の“まち”をめざして

- ・社会福祉協議会活動助成
- ・地域福祉計画策定事業
- ・男女共同参画プラン策定事業
- ・障がい者福祉対策費（手話通訳者派遣費ほか）
- ・高齢者福祉対策費
- ・老人等緊急通報装置整備事業
- ・デイサービスセンター改修事業
（金山第1デイサービスの機能充実）
- ・福祉医療費助成
- ・児童手当等給付
- ・保健事業（健康下呂21計画策定）

第57回全国植樹祭関連事業

- ・植樹祭準備経費
- ・植樹祭会場周辺整備
- ・イベント
県・市みどりの祭り開催
- ・花街道整備事業
アクセス道路沿いの
森林整備
- ・花かざり事業
下呂駅から会場まで
の花かざり

ありがとう未来へつなげ森のめぐみ



第57回全国植樹祭
2006 GIFU

合併特例債の使い道

平成17年度は、10億6,480万円

主な事業内容
金山市民会館周辺公共施設整備事業
小川2号線道路改良事業
森14号線道路改良事業
少ヶ野街路整備事業
しらさぎ緑地公園整備事業
高質空間形成施設整備（バリアフリーロードほか）
地域交流センター整備事業
南飛騨総合健康アリーナ整備事業
防災行政無線統合事業
萩原南保育園整備事業
障害者福祉施設整備事業

合併特例債

合併特例債とは、合併に伴い行う事業などに充てることができる地方債（借入金）のことです。合併特例債は、対象となる事業費の95%に充てることができ、その元利償還金（借入金の返済費用）の70%が普通交付税で措置されることになっています。下呂市では、平成26年までに196億円が借入れ可能ですが、市の負担も大きくなります。



ありがとう未来へつなげ森のめぐみ

第57回 全国植樹祭

2006GIFU

平成18年春季 萩原町四美で開催します

平成15年に宮崎県西都市で開かれた第55回全国植樹祭

平成18年春季に萩原町四美地内で
第57回全国植樹祭が開催されます。
開催まで約1年と迫った、全国植樹
祭についてご紹介します。

全国植樹祭は、

「荒れた国土に緑の晴れ着を」
をスローガンに昭和25年、戦中
戦後の過度な森林伐採により荒
廢した国土の緑化を目指して、
天皇皇后両陛下のご臨席のもと
山梨県で第1回全国植樹祭が開
催されたのが始まりで、以来、
毎年春に開催されています。

主催は、

社団法人国土緑化推進機構と
開催県との共催で、岐阜県では
昭和32年4月7日に谷汲村（現
在は揖斐川町）で
第8回全国植樹
祭が開催されまし
た。以来、49年ぶ
りとなります。

主な内容は、

天皇皇后両陛下
によるお手植えや
お手まぎ行事、森

林・緑化関係で功績のあった方
などの表彰や県内外の参加者に
よる記念植樹など、森林や緑の
大切さを知っていただけるよう
な催しが行われます。

開催日・場所は、

第57回全国植樹祭は、「あり
がとう 未来へつなげ 森のめ
ぐみ」を大会テーマに、平成18
年春季に、萩原町四美で県民の
健康道場として整備が進む「南
飛騨健康増進センター」内で開
催されます。

※開催日は今年8月頃に決定の予定です。



【植樹祭ポスターの原画】県内小中学校・高校から1542点が応募され、神戸町立
下宮小学校3年 山川毅人さんの作品が選ばれました。



テーマは、

今回の植樹祭では、森林・緑の恵みを受受するすべての人々による次世代（子ども）のための「森づくり運動」と森林・緑の魅力を活用した「知恵産業」づくりを展開、発信していきます。

このため、県内各地の小中学校、高校で開く「緑の子ども会議」で、森づくりに関する意見やアイデアを取り入れながら、子どもが主役の植樹祭になるように、開催準備が進められています。

また、知恵産業づくりでは、その実践例として、「森林セラピー」（森林療法）を取り上げて、森林が人間に与える癒しの効果について、全国へ情報発信していきます。

この植樹祭を契機に、すべての人が参加する未来への森づくり運動が盛り上がるようにと考えています。

整備が進む会場

式典会場は、飛驒川温泉「しみずの湯」の横から延びる林道をあがったところです。8千5百人の参加者を前提に、現況地形や植生を最大限に生かしながら、県による会場整備が行われています。また、植樹会場の健康増進センター向かいの山林では、現在間伐や群

状択伐、歩道の整備が進められており、植樹祭当日は、薬用広葉樹を中心とした記念植樹を実施することになっています。

さらに会場周辺では、県による治山流路工事や市による花の森整備事業、四美深谷林道の改修工事が行われ、全国植樹祭へ向けて着々と整備が進められています。

【シンボルマーク】

北海道から長崎県まで20都道府県在住の方々から152点が応募され、長野県大桑村の会社員川本智さんの作品が選ばれました。

作品の紹介

一本の苗木を持ってかかげる姿は、森を育て、守り、その森のめぐみを未来へつなげる使命を表しています。緑の木、ボディの紺色は、岐阜県の豊かな自然、清らかな川をイメージしています。



第57回全国植樹祭は、 「子どもが主役」

第57回全国植樹祭は「子どもが主役」がコンセプトになっています。

市内6校の小中学校では、子どもたちに森林や緑の大切さを知ってもらおうと総合的な学習の時間を使い「緑の子ども会議」が開かれています。

会議では、森林の働きについて学習したり、下刈り・間伐体験、森林探索などを行い、森林や自然に対する理解や興味を深めています。そんな活動の一部を紹介します。



木製遊具に大喜びの児童

尾崎小学校では、植樹祭会場で発生した間伐材を利用し、木製遊具を作りました。緑の子ども会議での声を反映した

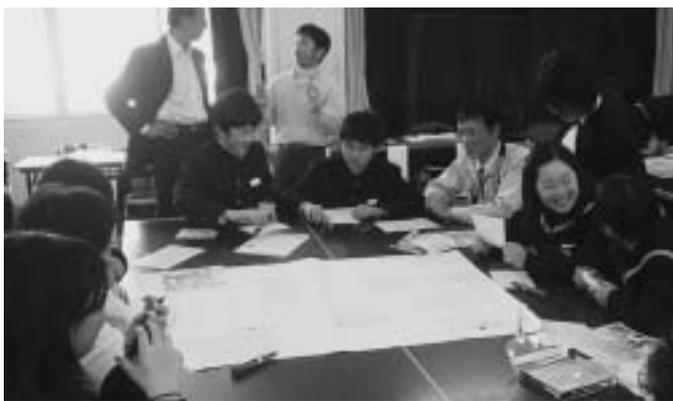
もので、子どもたちは、間伐の学習や木材の皮むきなどを体験しながら、木製遊具作りに参加しました。

植樹祭の苗木を育てています

萩原北中学校では、県が行っている「苗木のホームステイ」事業に参加。全国植樹祭で植えるウツギとムラサキシキブの苗木40本を育てています。開催日までの間、生徒たちが大切に世話をしていきます。

● 緑の子ども会議

また、2月3日には、1年生の生徒たちがこの1年間の「緑の子ども会議」での取り組みや環境について調べたことを発表したり、「全国植樹祭までに私たちができること」、「植樹祭で訴えたいこと」などをグループに分かれて意見交換しました。



意見交換する生徒たち

「町をきれいにするため、ゴミを拾う」、「森林について学ぶ」、「木を使った作品を作って会場に展示する」、「ウグイス嬢を自分たちでやる」などのアイディアが出されていました。



苗木を育てる萩原北中生徒の皆さん

プレ植樹祭を
開催します

4月29日(みどりの日)に、「第57回全国植樹祭」プレ植樹祭を、あさぎりスポーツ公園と南飛騨健康増進センターで開催します。

プレ植樹祭は、約1年後に迫った全国植樹祭に向け、市民の皆さんへの周知と機運の向上を図るのが目的で、「第36回岐阜県みどりの祭り」を兼ね、「第56回下呂市みどりの祭り」を合わせて開催するものです。岐阜県や下呂市、県緑化推進委員会などによる実行委員会が組織されています。

式典では、市内の児童・生徒が司会をつとめ、緑化功労者や各種コンクール入賞者などの表彰のほか、子ども宣言や記念植樹が計画されています。また全国植樹祭のキーワードである「森林セラピー」や「子どもが主役」を広くPRするための催しが盛り込まれています。

「みどりの日」の1日をプレ植樹祭でお過ごしいただき、森の大切さと合わせて、全国植樹祭へのご理解とご協力をお願いします。

南飛騨健康増進センター
(萩原町四美)

「森林セラピー」を体験

事前申込

森林散策会に出かけよう

森林セラピーの講義と南飛騨健康増進センター敷地内の林を散策し、森林セラピー効果を体験します。(定員100名)

【場所】 南飛騨健康増進センター散策路
【時間】 12:30~14:30

事前申込

全国植樹祭会場見学会

全国植樹祭の式典会場と植樹会場を見学します。現地では職員が、計画の概要や会場の整備状況を説明します。(定員100名)

【場所】 式典会場、植樹会場
【時間】 13:00~14:00

子どもが主役

緑の子ども会議

萩原北、萩原南中学校2年生の皆さんや津島市や市内のボーイスカウトの皆さんが、森林の働きや役割などを学んだ後、苗木の植栽を体験します。

【時間】 10:30~15:00

緑化少年団による苗木の植栽

プレ植樹祭記念の森をつくろう

緑化少年団の子どもたちで苗木の植栽を行い、「プレ植樹祭記念の森」をつくりま

【時間】 13:00~15:00

「第57回全国植樹祭」プレ植樹祭

4月29日(祝) 午前9時~午後3時

あさぎりスポーツ公園
(萩原町羽根)

子どもが主役

子どもたちによる芸能発表会

時間 13:00~14:30

特産物の展示販売など

時間 9:00~15:00

木工教室

当日受付

親子で力を合わせプランターを作ります。

時間 10:00~11:00(50名)
13:30~14:30(50名)

苗木の無償配布

当日受付

苗木約800本(ウツギ、ムラサキシキブ、エゴノキ、クリ、トチノキ、マユミ、ヤマザクラ、ヤマハギ)を配布します。

時間 9:30~10:00
14:00~15:00

ウォークラリー

当日受付

あさぎりスポーツ公園から全国植樹祭会場までの約10kmを自然や風景楽しみながら歩きます。(定員300名)

時間 8:00~13:00

事前申込

事前申込みが必要なイベントは、定員になり次第受付を終了します。

受付先 下呂市役所 農林振興課
52-2000(内線166)



2会場を結ぶシャトルバスが運行されます。

本事業は、「緑の募金」の助成を受けて実施されます。

走って^{そう}爽快 湯ったり 春気分

早春の温泉街を駆ける「下呂温泉ジョギング大会」が3月6日、下呂中学校を発着点に行われ、10km、5kmのロードレースと3.5kmのジョギングに715人が参加しました。

ロードレースは年齢、性別の6部門でタイム、順位を競い、ジョギング部門には家族連れや仮装した参加者らが、思い思いのペースで温泉街を駆け抜けました。



写真は、大会前日に開かれたジョギング教室で、ゲスト選手の日本ランナース中川真希さん(湯之島出身)が、中学生らに歩幅を広げるための姿勢などを具体的に指導しているようす。

ひーなさま みーしとくれ

小学生と年長園児の勧誘を目的に、馬瀬地区のジュニアクラブ連合会(代表田中敬)が3月6日、馬瀬中体育館で各部の練習風景の公開やドッチボール大会で交流を深めました。

ジュニアクラブには、剣道、バレーボール、野球、太鼓があり、それぞれで一生懸命活動しています。



みんな入ろうよ ジュニアクラブ



「ひーなさまみーしとくれ」と子どもたちが家々を回り、ひなさまを見てお菓子をもらっていく「がんどうち」が3月3日、萩原、小坂、馬瀬地域などで行われました。

萩原町野上の野口喜代男さん方では、享保びなと言われおよそ300年前から代々伝わるひなさまが飾られ、地域の子どもら約150人が入れ代わり立ち代わり訪れました。

you ♨️ 遊

ほっとピックス

地元の声援 背に健闘



第7回金山カップミニバスケットボール大会が3月5、6日、金山リバーサイドスポーツセンターで開かれ、岐阜、愛知の両県から男子13、女子12チームが参加。熱戦が繰り広げられました。

優勝は、市外のチームでしたが、ひだ金山ミニ、下呂ミニ、竹原ミニバスケの選手たちは、家族らの暖かい声援を受け、素晴らしいプレーを披露しました。

スキーシーズンを締めくくる

小坂町落合の濁河温泉スキー場で3月12日、ウインターフェスティバル（感謝祭）が開かれ、愛知県など遠方から家族連れなどが訪れました。

ソリ大会や申告タイムに近いタイムで滑れるかを競うタイムレースなどが行われ、入賞者にスキー板、スノーボードなどのスキーグッズや地元特産品が贈られました。



転倒続出、緩斜面50mをつかったソリ大会



山頂から母校を望む

金山町の下原小6年生と保護者らが卒業式前の3月12日、中津原地区から登る三峯山みつまねやま（標高約630m）の「卒業登山」を行いました。

ツツジの苗木を担いで登り、頂上付近に記念植樹。また、下原校区を眺めながら、皆で合唱し、親子で思い出の1ページを加えました。

花咲く川辺 再び



下呂温泉観光協会の呼びかけで「飛騨川クリーン作戦」が3月13日、温泉街を中心に行われ、大勢の市民が清掃奉仕に汗を流しました。

また、昨年秋の台風23号による増水で花壇などが流失した幸田河川広場では、幸田区の成人団体「幸友会」や高齢者クラブ「幸田福寿会」の会員や区民ら約40人が新たに五つの花壇を設置。パンジー、ピオラの苗約700本を植えました。

図書だより



問い合わせ先	はぎわら図書館	52-2000	小坂図書室	62-3366
	下呂市図書室	25-2489	金山図書室	32-2449
	馬瀬図書室	47-2111		

利用者の声

- ・図書館に来ると、新しい本がたくさんあってワクワクします。いつも1時間ぐらいのんびり本を読みます。(小1・女子)
- ・はぎわら図書館は、感動する本、ほのぼのした本、忘れられない本などがいっぱい。子どもから大人まで、自分にあった本をゆっくり探せます。きっとステキな本に巡り会えます。たくさんの人が本に触れてくれるとうれしいですね。(30代女性)

4月の絵本の読み聞かせ

4月 9日(土) 14:00 ~ (星雲会館3階ロビー)
4月23日(土) 14:30 ~ (下呂中央児童館)

主な新着図書

となり町戦争	三崎亜記
対岸の彼女	角田光代
エリカ	小池真理子
破裂	久坂部羊
ひまわりの海	館野 泉
グランド・フィナーレ	阿部和重
夜回り先生の卒業証書	水谷 修
親の「ぼけ」に気づいたら	齋藤正彦
人のセックスを笑うな	山崎ナオコ
オニババ化する女たち	三砂ちづる

他の新着図書は、各図書室の新着リストをご覧ください。

今月の一冊

『ネグレクト 育児放棄
~真奈ちゃんはなぜ死んだか~』
杉山 春・著

第11回小学館
ノンフィクション大賞受賞作



2000年12月10日、名古屋市近郊のベッドタウンで、3歳になったばかりの女の子が20日近くも段ボールの中に入れられたまま、ほとんど食事も与えられずにミイラのような状態で亡くなった。両親はともに21歳、十代で親になった茶髪の夫婦だった。なぜ、両親は女の子を死に至らしめたのか、女の子はなぜ救い出されなかったのか。3年半を超える取材を通じてその深層に迫った衝撃の事件ルポルタージュ。

読者の声：一気に読んでしまいました。ぜひ多くの人に読んでもらいたい1冊です。(30代女性)

春の全国交通安全運動

4月6日~15日

シートベルト・チャイルドシートの着用向上!



4月6日から15日まで、「地域ぐるみで守ろう! 春の交通安全運動」が実施されます。

- 運動の重点は
- ・子どもと高齢者の交通事故を防止する
 - ・二輪車の安全利用を推進する
 - ・シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底するの3点です。

「シートベルト着用の徹底」

昨年、県下で発生した交通事故のうち、シートベルトさえしていれば、尊い命を失わずにすんだと思われる事故が多数ありました。

次の点に留意して、シートベルトの確実な着用にごめってください。

- ・運転者・同乗者はシートベルトを着用するよう促す。
- ・家庭では
- ・出かける前に「シートベルトを忘れないで」の一声をかける。

地域では

- ・地域においても講習会を開くなど、地域ぐるみで着用の向上を図る。

職場・学校では

- ・職場では、従業員のシートベルト着用状況をチェックし、着用率100パーセントを徹底する。
- ・学校でシートベルト着用を指導することにより、児童生徒を通じて家庭内における着用意識の向上を図る。



暮らしの情報あれこれ

下呂市役所	
下呂庁舎	24-2222
萩原庁舎	52-2000
小坂振興事務所	62-3111
金山振興事務所	32-2201
馬瀬振興事務所	47-2111
下呂市教育委員会 (星雲会館内)	52-2900
下呂市消防本部	25-5119

今月の市税

☆ **軽自動車税**
……………平成17年度分

☆ **国民健康保険税**
……………4 月 分

●納期限は、5月2日(月)です。

募集

ホストファミリー

下呂市と国際姉妹都市提携を結ぶ米国ケチカン市から今年6月、短期留学の生徒たちがやってきます。留学生は、市内にホームステイをしながら日本の文化に触れ市内の子どもたちと交流を深めます。そこで滞在期間中のホストファミリーを募集します。一緒に過ごすごことで、外国の文化を学び、日本の文化を再発見してみませんか？

- 受入期間 6月11日～21日
- 受入人数 中学生22人、引率者5人(各家庭に1人)
- 申込期限 4月28日(木)
- 申込・問合せ先 金山教育室
32・3893

福祉のまちづくりを考える 地域福祉計画策定委員

下呂市では、平成17年度から18年度の2力年をかけて「下呂市地域福祉計画」を策定します。
策定にあたり策定委員会委員の市民公募を行います。

策定委員会は、地域福祉計画の案を策定し、市長に報告します。委員は、福祉事業を運営される方や社会福祉活動を行っている方、市民公募の方などで構成されます。

- 公募人員 振興事務所単位 各1名
- 申込期限 4月20日まで
- 申込・問合せ先 福祉課
52・2000

音楽を通じたまちづくりを一緒にしませんか！

下呂ふるさと文化財団では、「ふるさと音楽会」の実行委員と出演者を募集しています。

- 実行委員 20歳以上の方で、音楽が好きな方や関心のある方、催し物運営に関心のある方ならば大歓迎です。
- 出演者 「ふるさと音楽会」で発表してみたい方(団体)や音楽活動をされている方、発表の場を探している方、またそのような方をご存じの方は、ぜひお知らせください。
- 申込締切 4月20日まで
- 問合せ先 (財)下呂ふるさと文化財団(下呂教育室内)
25・2252

土砂災害情報通報システムの運用を開始します。

4月20日から、土砂災害の発生の恐れがある場合、防災行政無線の屋外拡声子局と戸別受信機を利用して、市民の皆さんに放送でお知らせします。

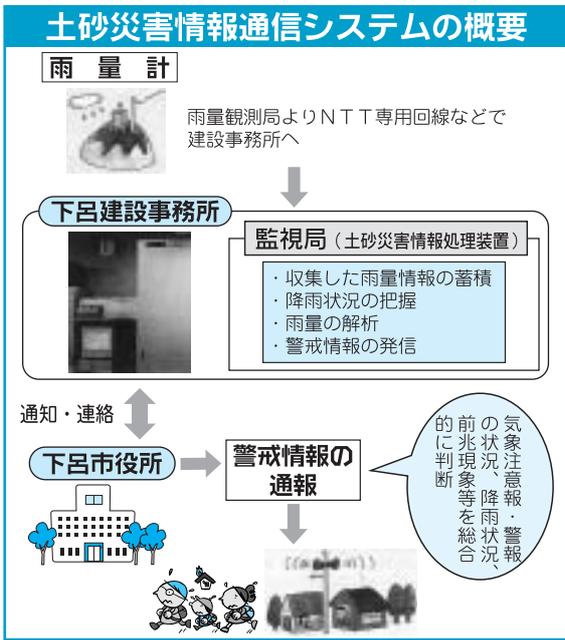
このシステムは、市内に設置されている雨量計で観測した情報を県の下呂建設事務所にある監視局で収集、蓄積、解析して、広く市民の皆さんにお知らせするものです。

土砂災害は、雨量と密接な関係があり、大雨が降ることにより災害の発生する確率が高くなります。山崩れなどの土砂災害が発生する危険な状態となった場合や予想される場合は、その地区の皆さんに自動的に一齐放送を流します。

放送する内容は次のとおりです。

「こちらは広報下呂です。雨が降り続けているので、がけ崩れなど、土砂災害の発生に注意しましょう。繰り返します」と続きます。

問合せ 総務課防災担当 24 - 2222





看護の心をみんなの心に

5月12日は 看護の日

ふれあい看護体験

市立金山病院では「ふれあい看護体験」の参加者を募集します。

院内の見学や簡単な看護体験などを通して、「助け合いの心と看護の心」を大きく育ててみませんか？
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

実施日時 5月10日(火)
午前9時から午後3時まで
場所 市立金山病院
内容 病衣交換、シーツ交換、体位変換、清拭、洗髪など
募集人員 10名
応募期限 4月15日(金)
申込書は市役所・各振興事務所・保健センターに設置してあります。期限までに当院受付窓口または、市役所市民課、各振興事務所市民生活課までお申し込みください。

問合せ先 市立金山病院(池田まで)
32・2121

生活

69歳福祉医療制度が 廃止に

4月から福祉医療助成制度の内、「69歳老人福祉医療費助成制度」が廃止になります。この制度は老人医療制度の1年前倒しの制度として、昭和51年から実施していたもので

廃止の理由
高齢者の経済状況や寿命の伸びに伴い69歳の疾病リスクが大きく改善されています。
老人保健制度の改正により、老人医療制度が70歳から75歳に引き上げられました。
70歳からは高齢受給者証が交付されます。

廃止の内容
時期 平成17年4月1日
対象者 平成16年度中に資格を取得された方(昭和11年4月1日生まれの方まで)は受給者証の有効期間終了まで利用できます。

申請 平成18年9月30日までに、申請書に領収書を添えて申請してください。

問合せ先 市民課または市民生活課
24・2222(内線258)

高山国道事務所 下呂維持出張所が新設

国道41号を管理する国土交通省高山国道事務所の「下呂維持出張所」が、4月1日、萩原町野根の下呂総合庁舎内に設置されました。

国道に関する道路占有許可などの各種申請が、市内でできるようになり、より皆さんに身近な存在になります。道路に関するさまざまな情報をお寄せください。

岐阜国道事務所の所管であった下呂・金山地域を走る国道41号は、4月1日から高山国道事務所の所管になりました。

問合せ先 高山国道事務所
下呂維持出張所 52・4170

春の全国交通安全運動

平成17年4月6日～15日

市営住宅入居者募集

金山地域
特定公共賃貸住宅(单身用)
池田団地 303号
耐火構造 1LDK
使用料 21,000 ~ 35,000 円
申込期限 4月18日(月)
問合せ先 建設課住宅係
52-2000

しだれ桜の四美の里

さわやかウォーキング

日時 4月17日(日) 午前9時 集合
場所 下呂総合庁舎駐車場または諏訪城址入口のいずれか
その他 萩原町中央用水の遊歩道を歩きます。
保険料1人200円要、弁当など。詳細・申込は下記まで。
主催 南飛騨健康増進センター 55-0010
(財)岐阜県健康長寿財団南飛騨健康道場

絵本でおなじみ

“からすのパンやさん”の ペープサートコンサート

日時 4月23日(土) 午前10時30分～
場所 下呂市民会館
内容 子どもたちの大好きなお話「からすのパンやさん」を歌とペープサートで楽しみます。(会員対象)
いつでも、だれでも入会できます。(年少児以上1人1月800円)
主催 益田子ども劇場事務所
52-4053 (熊崎090-7317-0383)

下呂市誕生1周年記念特別公演

鳳凰座歌舞伎

日時 5月3日(火)・4日(水)
場所 鳳凰座(下呂市御殿野)
時間 午後1時開演～午後9時ころ終演



主催 鳳凰座歌舞伎保存会 26-3228

市内の家畜のふん尿を使った良質堆肥の紹介

地域	地区名	生産者名	家畜の種類	電話番号
萩原	尾崎上尾	飛騨はぎわら牛生産組合	肉用牛	54-1718
		高橋均	肉用牛	55-0224
		熊崎陽輔	肉用牛	55-0717
		堀田農産(有)	豚	55-0508
小坂	大大島	石原郁夫	乳用牛	62-2565
		石原晴男	乳用牛	62-3720
下呂	野尻野蛇之尾御厩野蛇之尾御厩野宮地	下呂有機堆肥生産組合	肉用牛	26-2319
		中島畜産	肉用牛	26-2426
		(有)飛騨下呂温泉牧場	肉用牛	27-1129
		河村建樹	肉用牛	26-2363
		田口千勝	乳用牛	27-1081
		田口文明	乳用牛	27-1061
		今井耕一	乳用牛	27-1250
		丹羽敏博	鶏	26-2336
		熊崎勝寿	鶏	26-2239
		金山	中戸菅菅中切	矢嶋秀己
河尻匠	肉用牛			33-2014
佐古保	肉用牛			33-2110
星屋悦雄	肉用牛			33-2031
星屋隆茂	肉用牛			33-2032
(有)丸産畜産センター	豚			32-3660
馬瀬	黒石	森正	鶏	47-2262

ご注文などは、生産者へ直接お問い合わせください。
生産方法や家畜の種類により成分特性に差があります。

おいしい野菜づくりに
地元の良質な堆肥を

21世紀は、農業の持つ物質循環機能を生かし、土づくりを通じて、化学肥料や農薬使用による環境の負担を少なくするよう配慮した「持続的農業（環境保全型農業）の推進」が期待されています。

市では、有機農業推進のため家畜のふん尿の堆肥化や利用促進を図っており、市内の畜産農家などでは、家畜の飼養にともない発生するふん尿を使った良質な堆肥を生産し

ています。

堆肥は、健全な土づくりに役立つとともに、地域農業の活性化や畜産農家・農業生産者、一般市民の皆さんを結び付け地域循環の輪をつくっていくことにもつながります。ぜひ、おいしい野菜づくりなどに地元の有機堆肥をご利用ください。

なお、堆肥の使用方法については、飛騨地域下呂農業改良普及センターやJA飛騨各支店にお尋ねください。

4月1日から
個人情報保護法が全面施行

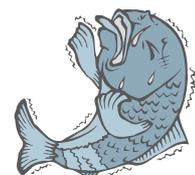
だれもが安心してIT社会の便益を享受するための制度的基盤として、平成15年5月に成立、公布された個人情報保護法が、17年4月1日から全面施行されます。

個人情報取扱事業者は、個人情報の利用目的を明らかにし、その範囲内で取り扱わなければなりません。また、本人の同意を得ずに個人データを第三者に提供することは、原則禁止されるほか、安全管理措置、従業者や委託先の監督など、個人情報の適正な取り扱いに関するルールが適用されます。

自分の個人情報については、事業者に開示等を求めることができます。また、個人情報に関するトラブルや疑問は、その事業者に申し出るほか、認定個人情報保護団体や地方公共団体、国民生活センターの苦情相談窓口などでご相談いただけます。

※詳しくは、内閣府国民生活活局ホームページ <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/kojin/index.html> をご覧下さい。

コイヘルペスウイルス（KHV）病を防ぐには
皆さんの協力が必要です。



市内でKHVを検出

今年2月、市内の個人の池で飼育されていたニシキゴイからコイヘルペスウイルス（KHV）が検出されました。

KHVとは、

KHVは、1997年に外国で見つかったコイ特有の新しい病気で、日本への侵入時期やルートは分かっていませんが、2003年10月ころから各地に広がっています。

感染すると、えらが色あせ、泳ぎが鈍くなり、えさを食べなくなります。幼魚から成魚まで発生し、今のところ有効な治療法もないため、ほとんど死ぬといわれます。

感染したコイから水を介して、別のコイに感染しますが、コイ（マゴイとニシキゴイ）以外の魚や人には感染しません。仮に感染したコイを食べても、人体に影響ありません。

KHVは、水温が18～25で発病すると言われ、冬場はコイの体に潜み、水温が上がれば感染の拡大の恐れもあります。個人の池や河川などで、コイに異常が見られた場合は、すぐに連絡をお願いします。通報や情報が遅れると、KHVのまん延を拡大させる恐れがあります。

皆さまのご協力をお願いします。

問合・連絡先

岐阜県淡水魚研究所 52-3111
市役所農林振興課 52-2000

母子父子家庭の皆さんを応援します 小中学校に入学する児童・生徒に 福祉金を支給します

市では今年4月に小・中学校に入学する児童・生徒をもつ母子父子家庭の方に、福祉金を支給します。対象となる方は、4月22日までに福祉課または健康福祉課で手続きしてください。

問合せ先 福祉課 52-2000 (担当 加藤、大坪)

愛の献血にご協力を！

4月20日(水) 下呂市役所10:30 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00
4月21日(木) 金子工業㈱ <萩原> 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00
4月22日(金) 馬瀬中央公民館 9:30 ~ 11:30、
金山カヤバ製作所(株) 13:30 ~ 16:00

犬の登録と 狂犬病予防注射の お知らせ



生後90日を経過した犬は、登録と毎年の狂犬病予防注射が法律により義務づけられています。犬を飼われている方は、必ず受けましょう。

登録済みの方は、注射料金3,070円と通知ハガキをご持参ください。

登録されていない方、新しく犬を飼われた方は、注射料金3,070円と登録手数料3,000円が必要です。今回新たに登録される方は、犬の名前・種類・生年月日・性別・特徴などの聞き取り調査をしますのでご協力をお願いします。

地域別開催日

地域	実施日	会場
萩原地域	4月11日、12日、13日	会場・受付時間などの詳細は、下呂市健康福祉環境部健康課(52-2000)または、小坂健康福祉課 62-2940 下呂健康福祉課 25-2680 金山健康福祉課 32-4500 馬瀬健康福祉課 47-2111 まで、お問い合わせください。 登録済みの方へは、実施日の1週間前までにハガキで通知します。
小坂地域	4月14日、15日	
下呂地域	4月18日、19日、20日	
金山地域	4月21日、22日、25日	
馬瀬地域	4月26日	

母子家庭のお母さんを応援します 下呂市自立支援教育訓練給付金

母子家庭のお母さんを対象に、ホームヘルパーや医療事務など職業能力開発のための講座を受講される場合、受講料金の4割を給付します。

対象者は、

児童扶養手当の支給を受けている方、または同様の所得水準にある方。

受講開始日において、雇用保険法による教育訓練給付の受給資格を有していないこと。

支給対象者の職業訓練、技術、資格の取得状況や労働市場の状況などから判断して、その教育訓練を受けることが適職に就くために必要と認められるもの。

支給額は、

対象教育訓練の受講のために、支払った費用の4割に相当する額を受講終了後に支給します。

詳しくは、市役所福祉課(52-2000)まで

母子寡婦家庭や父子家庭の生活を支援します 日常生活支援事業

母子寡婦家庭や父子家庭の方が、日常生活を営むのに支障が生じている場合に、その生活を支援するヘルパーなどの家庭生活支援員を派遣します。

どんなときに派遣されるの？

自立に必要な勉強などをするとき、就職活動をするとき、冠婚葬祭、出張および学校などの公的行事に参加するとき、けがや病気、事故、災害時など一時的に生活援助や保育サービスが必要なときなどです。

支援員は何をしてくれるの？

乳幼児の保育、食事の世話、住居の掃除、身の回りの世話、生活必需品の買い物などを行います。

支援員はどんな人？

家庭生活支援員の登録者で、ホームヘルパー3級以上の資格を持った人です。(随時、支援員の登録も行っています)

支援を受けるには、

原則事前に登録が必要です。下呂市母子寡婦福祉連合会(市役所福祉課 52-2000)までお尋ねください。

(金山教育課 32-3893)

26日の「親子で遊ぼう」は、手遊び、パラバルーン、ゲームなど楽しい催しが一杯です。

日にち	開館時間	会場
13日(水)	10:00 ~ 11:30	いきいきセンター
22日(金)	10:00 ~ 11:30	東公民館
26日(火)	10:00 ~ 11:30	健康館「親子で遊ぼう」
27日(水)	10:00 ~ 11:30	いきいきセンター

おひさまはつす 4月開館日

090・2346・2422

問合せ ほぼえみ家族

日時 4月25日(月) ~ 5月2日(月) 10時30分

年金制度
改正の
お知らせ

国民年金保険料は、月額1万3580円

毎年2800円（月額）引き上げへ

国民年金などの年金制度改正が順次実施されることになっていきます。3月号の「特別障害給付金制度」に続いて、平成17年4月からの主な変更点をお知らせします。

月額保険料が変わります

平成17年4月から平成18年3月までの国民年金保険料は月額13,580円です。（付加保険料は月額400円です。変更ありません）

国民年金の保険料は平成17年度から平成29年度まで、毎年2800円（月額）引き上げられる予定となっています。

若年者納付猶予制度が創設されます

今までは、若年者が免除申請を行った場合、世帯主である親と同居していると世帯主の収入が多ければ認められませんでした。今回の改正で、17年4月より、30歳未満の若年者については、本人と配偶者の所得が免除に該当すれば、

保険料の納付が猶予されることとなります。

単身世帯の保険料免除の所得基準が緩和されます

失業を理由に免除申請を行う場合は、雇用保険の離職証のコピーの添付が必要となります。

また所得により承認されないこともあります。

※基準額については、直接お尋ねください。

第3号被保険者の特例が実施されます

第3号被保険者（厚生年金保険等に加入する方の被扶養配偶者）の届け出の特例が認められます。

これまでは、第3号被保険者の届け出が遅れた場合は、2年前までさかのぼって第3号被保険者の期間となり、それ以前の期間は『保険料未納の取り扱い』になっていました。

今回の改正では、特例の届け出をしていただくことに

よって、2年以上前の期間も第3号被保険者期間として取り扱い、将来その分の年金を受け取ることができるようになります。

なお、社会保険庁において把握している期間については、特例の届け出の必要はなく、自動的に保険料納付済の期間への変更が行われます。該当者には、4月下旬に社会保険庁からお知らせが送付されます。通知が送付されない方で、この制度に該当すると思われる方は、お問い合わせください。また、年金受給者で、この制度の対象となる方は、社会保険庁で変更が行われるため届け出の必要はありません。

いずれの内容も詳細は、

○岐阜社会保険事務局

高山事務所国民年金業務課

0577-326111

○市民部市民課給付年金係

24-2222

保険証 国民健康保険 被保険者証 を大切に

保険証（被保険者証）は、下呂市の国民健康保険の加入者であることを証明するものです。

大切に保管しましょう。

長期間住所を離れるときは、

保険証は一世帯に1枚ですが、加入者が旅行や出稼ぎなどで長期間住所を離れるときや、就学などで他の市町村へ居住する場合は、別に保険証が交付されます。

申請に必要なもの 保険証、在学（園）証明書など



こんなときは、14日以内に届け出を

就職・転職などで、職場の健康保険などに加入したとき。転職・退職などで、職場の健康保険などを脱退したとき。

他の市町村に転出するとき。

他の市町村から転入したとき。

加入の届け出が遅れると、遅れた分もさかのぼって保険税を納めることとなります。また、脱退の届け出が遅れてうっかり国民健康保険（以下「国保」）の保険証で医療機関にかかると、国保から支払われた分の医療費を返していただくこととなります。

不明な点は、市民課国係または振興事務所市民生活課窓口でお尋ねください

～ 病気やケガでお医者さんにかかるときは、必ず保険証を窓口に表示しましょう ～



こんにちは

市長です

市長 山田良司

下呂市総合計画

4月になり、学校も会社も市役所も新年度に入りました。

今年、「下呂市第1次総合計画」の最初の年になり、本当の意味での下呂市のスタートの年といってもいいかも知れませんが、この総合計画は、向こう10年間の下呂市のランドデザイン（全体像）を描くもので、長期的な下呂市のビジョンを示すものです。

生活環境、都市基盤の整備、教育・福祉・文化の充実、産業振興などを財政状況とにらみ合わせながら、大勢の市民の皆さんの声をお聞きし、職員一丸となつて作りました。

その中には大きな事業、合併前からそれぞれの地域で要望さ

れていた事業もあります。もちろん限られた予算の中で全ての事業はできず、公平公正に優先順位を考え、ものによっては見送らざるを得ないものもある中でまとめあげ、3月議会において承認をいただきました。

ただ、合併して田が浅いこともあり、市民の皆さんにとつては、自分の住む地域のことは分かって、他の地域の事業は、内容がほとんど分からないというのが実情です。しかしながら、大きな予算を伴うものですので、その事業の内容と有効性をきちんと説明しながら、市民の皆さんとのコンセンサス（同意）を取り付けて進めていかなければいけないと考えています。

昨年私は、体と時間の許す限り「市政懇談会」、「市民サロン」という形で、直接地域に出向き市民の皆さんと意見交換をしてみたいと思いましたが、今年もぜひ継続していきたいと思いが、それに加え、特定の事業については、その内容を説明するための「出前説明会」も行い、それぞれが、納得の上で事を進めて

行きたいと考えております。

合併することによって、合併以前より良くなったこともあれば、悪くなったこともあるかもしれませんが、悪くない。しかし、合併の効果というものは一朝一夕に現れるものではなく、かなり時間がかかるものだと思います。10年くらいたって「合併して良かったなあ」と思えるような、そんなまちにするために、計画的に着実に前進していきたいと考えています。



飛騨川温泉 しのぶの湯

泉質 アルカリ性単純泉
効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動マヒ、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔(じ)病、冷え性病、後回復期、疲労回復、健康増進
風呂 男女別内湯、男女別露天風呂、薬草風呂・家族風呂

入浴料 大人500円(プール込み700円)
子ども(小学生)300円(プール込み400円)
営業時間 4月～6月 AM10:30～PM9:30 定休日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
下呂市萩原町四美1426-1
56-4326 <http://www.shimizunoyu.com>

～ H17年度 期水中運動教室 生徒募集 ～
5月9日の週から7月15日の週末までの10週間、1教室10回の水中運動教室を行います。
内容は、「水中ウォーキング」「腰痛改善教室」「ソフトスイミング&ウォーキング」「アクアピクス」です。
- 詳しくは4月9日の朝刊チラシをご覧ください -



わたしたちのまちづくり



指導する谷澤団長



練習に集まった団員の皆さん

Mashita Breezy Brass <マシタブリージーブラス>

下呂市民吹奏楽団

下呂市に吹奏楽のそよ風を吹かせようと、昨年12月、「下呂市民吹奏楽団」(谷澤秀人団長)が誕生しました。4月30日には、「第1回下呂市吹奏楽祭」が計画され、新しいまち・下呂市に、音楽を通しての交流と文化が広がろうとしています。

下呂市民吹奏楽団は、旧益田高校吹奏楽部のOB会をつくらうという動きの中から発展的に誕生し、金山地域で活躍していた「ほこ・あ・ほこ」のメンバーや音楽好きの仲間たち約30人が集まりました。

団員は、20代から50代の会社員や主婦、公務員などさまざま。忙しい仕事や家事のかたわら、星雲会館などで週3回の練習に励んでいます。十数年ぶりに楽器にふれるという団員も多く、悪戦苦闘しながら音をだしています。

当面の目標は、「毎年秋に開かれる飛騨地域の中学、高校、一般の吹奏楽団の発表会『全飛吹奏楽祭』に出場すること」と谷澤団長。すでに地域イベントへの誘いもあり、吹奏楽を通して音楽文化の向上やまちづくりに貢献していきたいと夢を語っています。

【問合せ先】副団長 中島 真さん 25-3294 (090-2937-1549)
ホームページ <http://mbb.webin.jp/>

下呂市は、市民との協働の新しいまちづくりを進めていきます。
広報紙では、今月号からこのコーナーで、まちづくりなどに取り組む皆さんを紹介し、応援していきます。

第1回下呂市吹奏楽祭

日時 4月30日(土) 午後1時開演

会場 星雲会館ホール

参加団体 萩原南中学校吹奏楽部、
益田清風高校吹奏楽部、下呂市民吹奏楽団

※入場時にチャリティー募金一口100円にご協力ください。

主催 下呂市吹奏楽祭実行委員会

入場無料